

平成25年度予算181億2,300万円可決



▲今定例会では市長の施策方針演述が行われました

平成25年度遠野市長施政方針演述概要

1 TPP交渉に 関する見解

先般の日米首脳会談を受けて、日本のTPP交渉参加に向けた動きが加速しています。

農業の持つ、自然・環境の保全、良好な景観の形成、文化の伝承などの多面的価値を後世に引き継ぐためにも、聖域なき関税撤廃を前提としないとはいえず、具体的な特定品目が明らかになっていない現状においては、反対と言わざるを得ません。

2 放射線影響対策

また、平成24年度は、遠野市の市民生活に大きな影響を与えた東京電力福島第一原子力発電所の事故発生により、放射線影響対策に追われた1年でもありました。

汚染牧草処理・草地除染・原木生しいたけのホダ木処理、いづれ

も経験したことのない、専門知識やノウハウがない中での、必死の取り組みでありました。

地域住民の皆様をはじめ、市議会においても特別委員会を立ち上げ、また県やJA関係者の方々にも、「このまま放置はできない」という危機感のもとで行動したが故に、一定の結果を得ることができたものと思っております。

3 平成25年度 予算編成概要

さて、平成25年度当初予算は、「託された責任を未来につなぐ」予算として、総額181億2,300万円で編成いたしました。今後の行財政運営を厳しく見据えながら、全事務事業を見直し、「安全と安心のため」そして「未来につなぐため」の施策を柱

4 進化し続ける まちづくり

市政運営を市民の皆様から託され12年になろうとしています。

「遠野らしさ」そして「活力」を維持するためには、市民の皆様とのしっかりとった協働の上に成り立つ、地域総合力の発揮が必要不可欠であります。

「変わるもの」、「変わらないもの」をぶれずに、しっかりと見据えながら、山積する市政課題に果敢に挑戦し、進化し続けるまちづくりを「ぬくもり」という言葉を大切にしながら「永遠の日本のふるさと遠野」の実現に向け邁進する所存であります。